

# 行動計画テーマ4関連

## エネルギーの市民意識の向上

～「エネルギーのまち」としての地位向上に向けた仕組みづくり～

# テーマ4: (1) 計画の全体概要

## ■ 目的

まちづくりで次世代エネルギーについて考え、取り組むための土壌づくり

## ■ 前提

教育機関や地区コミュニティ協議会等の関係機関の一定の理解を得るための素地が整っていること

## ■ 展開する主な個別事業

学校等への出前講座や地域との対話、イベント等の実施※

- ・有効な出前講座を行うためのツール(リーフレット)の作成。
- ・ニーズやアイデア聴取のための出前講座や対話機会の継続。
- ・興味や関心の喚起のためのイベントやシンポジウムの開催。

市民参加型の実証事業の実施(屋根貸し、公共施設への導入)※

- ・一般住宅(屋根貸し)やコミュニティセンター等に太陽光パネルを設置し、賃料や売電益を地域で活用するモデルの構築。
- ・市民参加型の実証事業を行うことで、一層の理解獲得を促す。

「エネルギーのまちづくりイノベーションサイト」を通じた交流と情報発信

- ・エネルギーやまちづくりについて関心の高い個人や組織・団体をつなぐための仕組みの構築。
- ・次世代エネルギー等を活用した生活様式の普及に向けての様々な取組みを市内外に効果的に発信。

施設のゼロエネルギー化等の取り組みの推進  
政策コンテスト等の市民参加による提案型事業の実施※

- ・省エネ、創エネ、蓄電、エネルギーマネジメント等を組み合わせたゼロエネルギー化を実現する施設整備の検討・推進。
- ・知識や経験を蓄積した市民の意見やアイデアをアウトプットする仕組み、制度の構築。

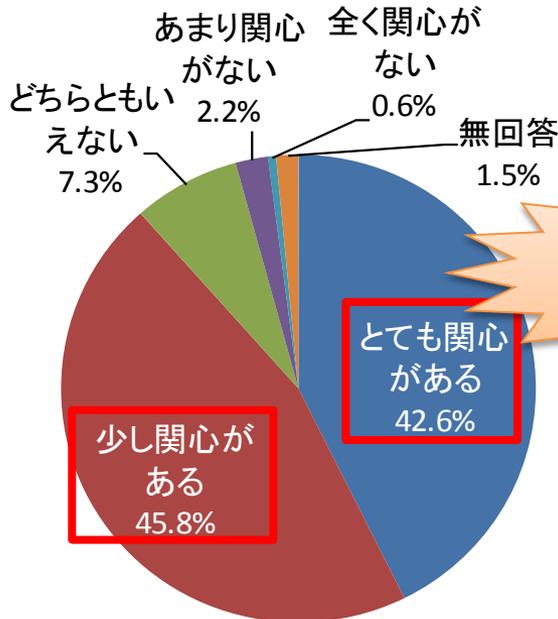
※印の項目については、具体的な進め方について後述する

# テーマ4: (2)テーマに係る背景

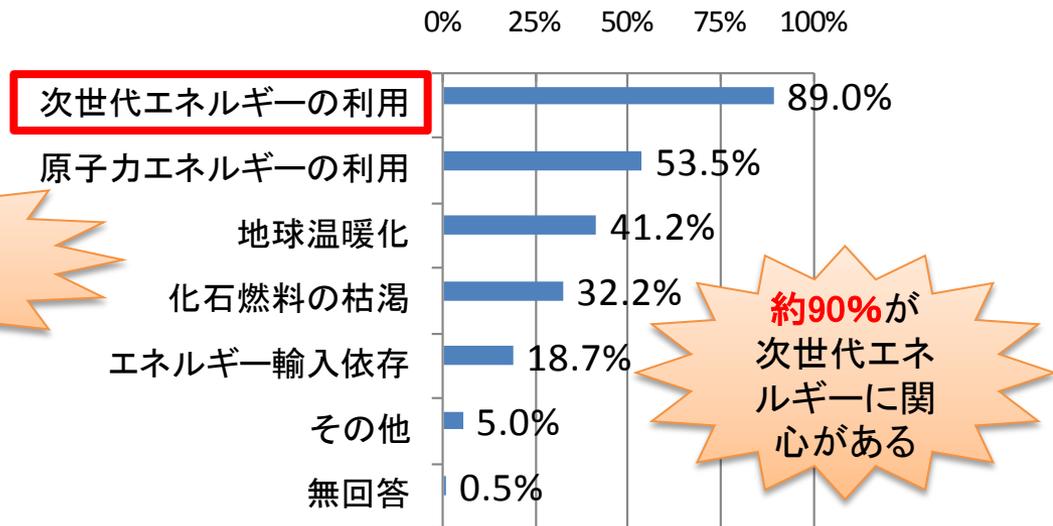
- 本市においては、『エネルギーのまち』として、普及啓発や教育等の取組みはこれまでも行っているが、必ずしも市民生活の身近なところでエネルギーが話題になるまでには至っていない。
- しかしながら、東日本大震災や福島第一原子力発電所事故を契機に、次世代エネルギーの導入や節電、エネルギー問題に関する関心は高まっている。【下記参照】
- 今年度も地域との対話や出前講座を通じて意見等の聴取を行ってきたが、上記をうけて、今後より一層の市民意識の向上に向けた普及啓発が必要である。
- また、市民の意識やライフスタイルの変化に伴い、単に社会情勢や国の政策動向を注視し、それらを市民に伝えるだけではなく、市民自らが政策づくりに関与するための環境づくりを行う必要がある。

## 市民アンケート結果

<問 エネルギーに関する問題への関心>



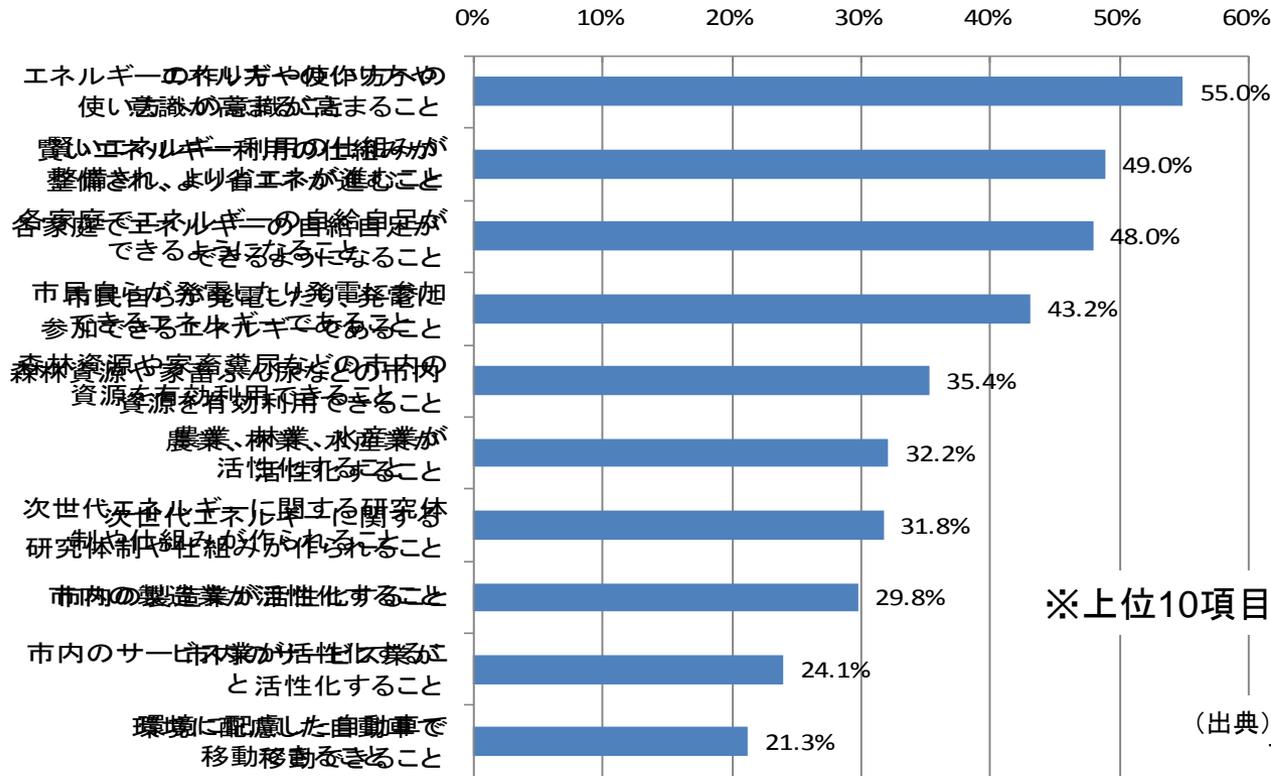
<問 エネルギーに関する問題への関心>



(出典)薩摩川内市次世代エネルギービジョン アンケート調査

# 《参考》市民の声の紹介

○これまでに実施した地域との対話及び、市民アンケートの結果からも多様な意見が寄せられている。



これまでの地域との対話でも多様な意見が寄せられている。主な意見は以下のとおり。

- ◆ 耕作放棄地等の農地を活用して太陽光パネルの設置はできないか。
- ◆ メガソーラーのパネルの下を活用して、水耕栽培施設のような工場を誘致するなどできないか。
- ◆ クリーンセンターから出る排熱を利用して発電を行い、所内の電気を賄うことはできないか。
- ◆ 次世代エネルギーは、設置費用がネックになっているので、基金を設けて設置費用を無料にするくらいの思い切った施策が必要ではないか。
- ◆ 市内には山林が多いので、木材からリグニンとセルロースを分離して、バイオプラスチックを作ってはどうか。
- ◆ 個人の出費を抑えるために、太陽光パネルをリースにして、一般住宅に取り付けてもらい、蓄電や売電する仕組みはつくりえないか。

# テーマ4: (3) モデル全体イメージ

○市や事業者、市民・NPO、教育研究機関等が、共通の目的である『持続的な経済発展』や『生活しやすいまちづくり』に向かって、対等の立場で協力して進める体制や仕組みを構築する。

## 持続的な経済発展・生活しやすいまちづくり

『次世代エネルギーの使い方や作り方、既存エネルギーの使い方を考える』

### 事業等を通じた連携関係の構築・活発なコミュニケーション



#### 事業者

- 自社施設への発電設備等の導入
- 行政等と連携しての出前講座や実証事業の実施



#### 市

- 広報誌やHP等を利用した普及啓発
- イベントや出前講座、講演会等の実施
- 公共施設への発電設備等の導入や実証事業の実施



#### 市民・NPO等

- イベントや出前講座、講演会、実証事業等への参加
- 政策コンテストや提案型補助金等を活用しての施策参加



#### 教育研究機関

- 行政等と連携しての出前講座や実証事業、共同研究等の実施

# テーマ4: (4) 具体的事業展開イメージ

## 市民と行政との双方向の関係構築に向けた取り組み

- 行政においては、出前講座やイベント等を通じた普及啓発や体験機会の提供にこれまで以上に努め、一層の関係構築に努める。
- 上記に加えて、市民それぞれが蓄積した知識やニーズ等を踏まえて、自ら政策提言を行い、積極的にまちづくりに参加できる仕組みの構築を目指す。

## 行政と市民のコミュニケーション・協働の推進

### 《ソフト面》



イベント



出前講座



ホームページ等を通じた情報発信



広報紙でのPR

### 《ハード面》



公共施設への設備導入



スマートメーターを使用した市民参加の実証  
(出典: 日経BPネット)



講演会・シンポジウム



出前授業

## 《目指す方向性》 パートナーシップ構築



政策コンテスト等による  
市民からの政策提言

# テーマ4: (5)ロードマップ

